# 観光文化論 I

科目ナンバリング　SOC-203
選択必修　　2単位

権　赫麟

1. 授業の概要（ねらい）

現代観光は、経済的に大きな位置を占める産業であると同時に、現代社会の文化的状況が構築される上で重要な役割を果たす社会現象でもあります。本講義では、必ずしも産業論に拠らない観光への視点を重視し、観光客と観光客を受け入れる社会の権力関係及び観光が地域社会の与える様々な社会・文化的な影響を検討します。

2. 授業の到達目標

・観光文化論の基本的な視座を理解すること
・現代観光が地域社会に与える文化的な影響について理解を得ること
・観光と文化の関係に対する自分の価値観を形成すること

3. 成績評価の方法および基準

平常点20%、中間試験20%、期末試験60%を原則とします。
授業への積極的な参加は平常点として成績に反映されます。

4. 教科書・参考文献

参考文献
太田好信　2010、『〔増補版〕トランスポジションの思想―文化人類学の再想像―』　世界思想社
山下晋司　1999、『バリ 観光人類学のレッスン』　東京大学出版会

5. 準備学修の内容

多様な観光現象を文化的な観点から見つめる習慣を身につけるように努力すること。

6. その他履修上の注意事項

観光文化論Iと観光文化論II両方の履修が望ましいです。
授業中の私語及び雑談は禁止とします。

7. 授業内容

【第1回】　オリエンテーション：「観光と文化」を考える
【第2回】　グローバル社会の文化交流と現代観光
【第3回】　観光現象の概念と属性
【第4回】　観光の社会文化的影響①：肯定的な波及効果を中心に
【第5回】　観光の社会文化的影響②：否定的な波及効果を中心に
【第6回】　事例研究：マオリ族の伝統文化と日本観光
【第7回】　中間試験
【第8回】　観光文化理論①：文化の商品化をめぐる議論
【第9回】　観光文化理論②：本物の文化、偽物の文化
【第10回】　事例研究（映像資料視聴）：「カンニバル・ツアーズ」とポストコロニアリティ
【第11回】　観光文化理論③：観光文化へのアプローチ
【第12回】　観光文化理論④：文化の破壊あるいは創造
【第13回】　事例研究：「最後の楽園」バリの観光文化
【第14回】　事例研究（映像資料視聴）：「おざおざの森」の観光文化
【第15回】　講義のまとめとテスト